

令和5年度

「市県民税申告」及び「所得税の確定申告」 が始まります

必要な書類などを準備いただき、早めに申告をお願いします。

※必要な書類については、4ページをご参照ください。
※小城市での申告会場の日程は16ページをご参照ください。

申告会場に来場される方へ

～新型コロナウイルス等の感染症予防対策にご協力ください～

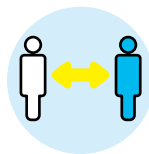
○入場時の検温の実施



○マスクの着用、手指消毒のお願い



○少人数での来場



～利用者識別番号の事前取得にご協力ください～

確定申告の受付時に利用者識別番号の取得が必要です。未取得の方は申告会場での発行手続きとなり、時間を要しますので事前取得のご協力をお願いします。詳細は5ページをご参照ください。

～市県民税がかかる人・かからない人の判定について～

13ページに、市県民税が課税されるか否かの判定フローチャートを記載しています。ぜひご活用ください。

市県民税申告書の作成及び市県民税額の試算は小城市ホームページからも可能です。
ご自宅のパソコンから簡単に利用できる住民税額シミュレーションシステムをぜひご活用
ください。 https://zeisim.e-civion.net/tax-project/tax/ogi_top.html



●佐賀税務署での申告が必要な方●

次の確定申告は、市では受付できません。

該当される方は税務署での確定申告または国税庁ホームページの『確定申告書等作成コーナー』をご利用ください。

- 1 営業、農業、不動産等所得で収支内訳書を作成されていない方
- 2 青色申告をされる方
- 3 医療費控除申告のための「医療費控除の明細書」を作成されていない方
- 4 分離課税の申告をされる方
(土地・建物・株式等の譲渡、上場株式等に係る譲渡損失の損益通算、先物取引、利子所得、山林所得など)
- 5 配当所得がある方
- 6 初めて住宅借入金等特別控除を受ける方
- 7 外国税額控除を受ける方
- 8 雑損控除を受ける方
- 9 肉用牛の売却による(事業)所得がある方
- 10 令和3年分以前の確定申告をされる方
- 11 納税者が死亡したときの確定申告(準確定申告)に該当される方

申告会場にお越しになる前に、ご自身の申告内容が上記の申告にあたらないかどうかご確認ください。
なお上記以外でも、内容によっては税務署での申告をご案内する場合がありますのでご了承ください。

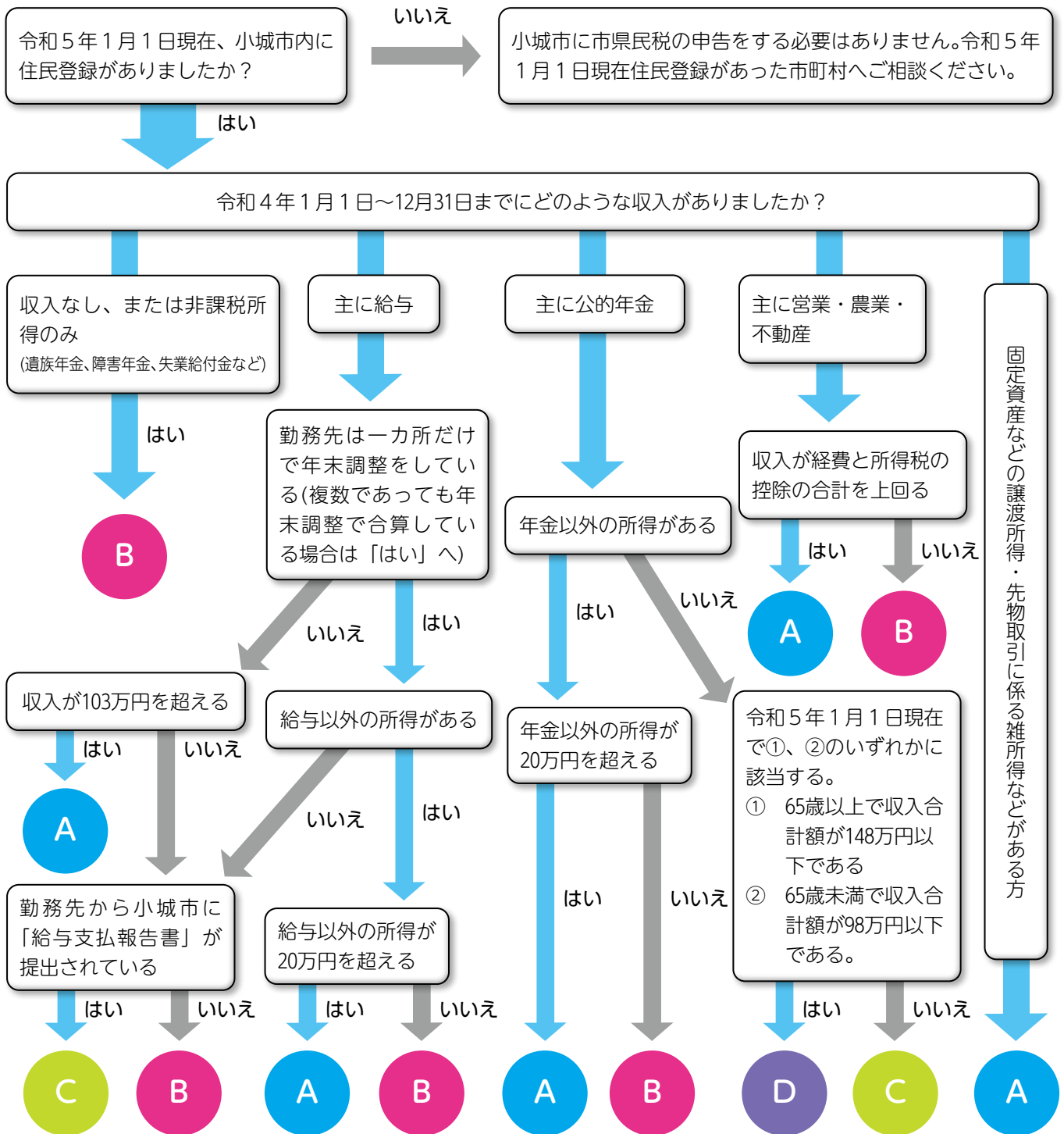
市役所内の会場の自主申告コーナーにパソコンを設置しております。ご自身で作成された申告書をそのまま電子で送信いただくか、書面でお預かりし、佐賀税務署への回送は可能です。その際に市で申告内容の確認は行いません。

●お問い合わせ先 小城市役所 税務課 課税係 ☎37-6103

★申告は、正しく、お早めに➡申告期限は3月15日(水)です!

申告フローチャート ～あなたは申告が必要？～

★申告書提出先の確認



★令和5年1月1日現在、小城市に住民登録がある方で申告がない(収入状況が分からない)と……

(1) 所得証明書などの証明書が発行できません。

<例> 育英資金貸付、国民年金保険料免除 等

(2) 各種行政サービスの手続きができません。

<例> 公営住宅、児童手当 等

※ (1)(2) については例示している申請以外にも必要な場合がありますので、詳しくは申請先へご確認ください。

(3) 国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の算定や軽減判定ができません。

国民健康保険や後期高齢者医療制度に加入されている人及びその世帯の方(被扶養者・未成年者は除く。)の中に所得が不明な人(未申告の人)が一人でもいると、本来受けられるはずの給付や軽減措置を受けられないことがあります。収入がない方でも必ず申告してください。

| チャートの判定結果 | | 申告書の提出先 |
|-----------|--|---|
| A | <p>所得税の確定申告が必要です。</p> <p>国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で確定申告書を作成することができます。作成した確定申告書はe-Taxで送信するか、印刷して郵送または持参により提出してください。また、スマートフォンを使って所得税の確定申告もできますので、活用をご検討ください。</p> <p>所得税の確定申告を提出すれば、市県民税の申告は必要ありません。確定申告書の「住民税・事業税に関する事項」に該当する場合は必ず記入してください。</p> | <p>佐賀税務署</p> <p>〒840-8611 佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎</p> |
| B | <p>市県民税の申告が必要です。</p> <p>6～15ページを参考に、添付の申告書に必要な事項をご記入いただき郵送または持参のいずれかで提出してください。</p> <p>市県民税申告書の作成及び市県民税額の試算は小城市ホームページ上からも可能です。ご自宅のパソコンから簡単に利用できる住民税額シミュレーションシステムをぜひご利用ください。</p> | <p>小城市役所 税務課</p> <p>〒845-8511 小城市三日月町長神田2312番地2</p> <p>※申告会場にて申告書を作成・提出される場合は、4ページをご参照ください。</p> |
| C | <p>場合によっては所得税の確定申告、市県民税の申告が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆年金・給与収入から所得税が源泉されていて、控除を追加したい場合 →税務署に確定申告の提出が必要となります。 ◆収入が年金のみで、所得税が源泉徴収されず、控除を追加したい場合 →市役所に市県民税の申告書を提出してください。 | |
| D | <p>所得税の確定申告、市県民税の申告は必要ありません。</p> | |

★申告書提出期限は3月15日(水)です。

所得税の確定申告(還付申告も含む)は佐賀税務署へ!

令和5年2月16日(木)～3月15日(水)まで

メートプラザ佐賀 佐賀市兵庫北3丁目8番40号

※この期間中(2/16～3/15)は、佐賀税務署には申告会場を開設されていませんのでご注意ください。

受付時間 午前9時から午後4時まで

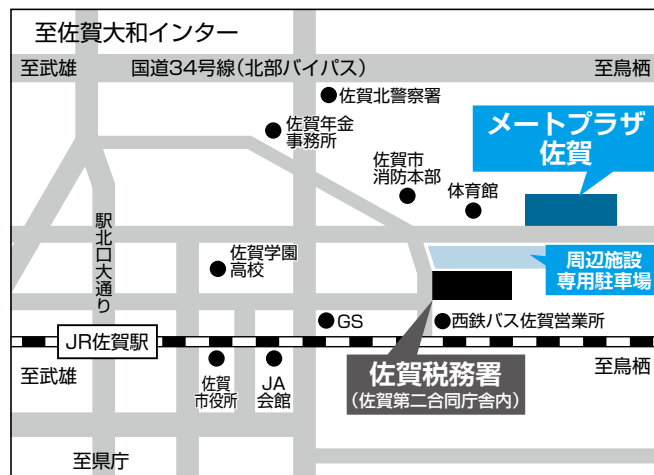
※新型コロナウイルスへの感染予防として会場への入場には「入場整理券」が必要です。

申告会場の混雑緩和のため、状況に応じて早めに受付を終了し、後日の来場をお願いすることもあります。

※土曜日、日曜日及び祝日は休みとなります。

「入場整理券」・会場当日配布

の配布方法 ・LINEアプリによる事前発行(国税庁LINE公式アカウントを友だち追加)



【休日の申告受付日】令和5年2月19日(日)と令和5年2月26日(日)の2日間です。

佐賀税務署 (0952) 32-7511

確定申告に関するお問い合わせ

「0」番を
プッシュ

【開設期間：令和5年1月13日～3月15日】
所得税、消費税及び贈与税の確定申告に関するお問合せ【確定申告テレホンセンターの担当者におつなぎします。】

国税に関する一般的なお問い合わせ

「1」番を
プッシュ

【電話相談センターの担当者におつなぎします。】

申告会場はこちらです

≪主会場≫ 小城市役所 西館
住所：三日月町長神田2312番地2



≪小城会場≫ まちなか市民交流プラザ「ゆめぶらっと小城」
住所：小城町253番地21



≪牛津会場≫ 牛津公民館
住所：牛津町柿樋瀬1100番地1



≪芦刈会場≫ 芦刈保健福祉センター ひまわり
住所：芦刈町三王崎1522番地



～申告の際に必要なもの～

市県民税申告、所得税の確定申告共通

申告会場では、面談により申告書を作成、提出していただきます。**次の必要書類を準備して、申告受付期間中に申告会場へおいでください。**ただし、**内容によっては市の会場で受付ができないため、税務署での申告をご案内することがあります。**あらかじめご了承ください。

① 令和4年中の収入に関する書類

- ・給与収入、公的年金収入のある方…「源泉徴収票」(コピー不可)
- ・営業所得、農業所得、不動産所得のある方…収入金額と必要経費をまとめた「収支内訳書」
※必ず事前に内訳内容の記載をお願いします。
- ・生命保険や損害保険の満期金、個人年金のある方…「支払明細書」
- ・その他の収入のある方…収入金額がわかるもの

② 控除に関する書類

- ・社会保険料控除…控除証明書又は領収書
 - ・生命保険料控除、地震保険料控除(旧長期損害保険料)…支払保険料の控除証明書
 - ・医療費控除について…別紙医療費控除の明細書をご参照ください。
 - ・障害者控除…障害者手帳又は障害者カード
 - ・その他控除に必要な領収書又は証明書など(参考 主な所得控除の一覧(P8~9)をご覧ください。)
- ※扶養控除をされる方は、他の方がすでに扶養控除を申請されていないか事前に確認してください。

③ その他

- ・マイナンバーカード(お持ちでない方は、マイナンバーの分かる書類と身分証明書)
- ・所得税の還付申告の場合は、申告者本人名義の預金通帳など、金融機関名・口座番号の分かるもの
- ・利用者識別番号の分かるもの(事前に取得されている方)

確定申告受付に必要な「利用者識別番号」の事前取得のお願いについて〈重要〉

～事前にご準備いただくとスムーズです！～

これまで、市の申告会場では、確定申告書を印刷して税務署へ送付していましたが、事務効率化、経費削減、デジタル改革の観点から、電子データで税務署へ提出することになりました。その際に必要となるものが「利用者識別番号」です。

申告会場でも取得可能ですが、事前に自宅のパソコンやスマートフォンで「利用者識別番号」をオンライン発行することで、所要時間を短縮することができます。

すでに「利用者識別番号」を取得されている方については、番号（16桁）が記載されている税務署からのハガキや書面等を申告当日にお持ちください。

利用者識別番号とは？

マイナンバーとは異なる16桁の番号であり、市から税務署へ申告書を提出する際に必要となる番号です。この番号は申告時にのみ使用するもので、一度取得していただければ、次回以降も同じ番号で申告することができます。

利用者識別番号を取得しなければならない人は？

市の申告会場を利用し、確定申告される方です。一度でも税務署で申告したことがある方は、すでに「利用者識別番号」を取得済みの可能性があります。お手元に「利用者識別番号」を確認できるものがないかご確認ください。

手続き方法は？

国税庁のホームページ「e-Taxの開始（変更等）届出書作成・提出コーナー」から取得できます。登録時に暗証番号（英小文字＋数字で8桁以上）と納税者用確認番号（半角数字6桁）が必要です。

確定申告はスマホやパソコンで自宅から申告ができます

STEP 1

「国税庁ホームページ」へアクセス

税務署に行く手間がかかりません

確定申告

確定申告期間中は**24時間いつでも**利用できます



スマートフォンやパソコンで
簡単に申告書が作成できます



確定申告書の
作成はこちらから

STEP 2

申告書を作成

画面の案内に従って入力すれば、税額などが自動計算され、簡単・便利に作成することができます

STEP 3

申告書を提出

■ 国税庁ホームページからe-Taxで送信

■ 印刷して郵送等で提出

プリンタをお持ちでなくても、コンビニ等のプリントサービス（有料）を利用すれば、印刷できます。

e-Taxの送信方法は2通り

マイナンバーカード方式

- ① マイナンバーカード
- ② マイナンバーカード読取対応のスマートフォン又はICカードリーダライタ



又は

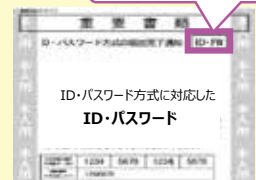


ID・PWが目印

ID・パスワード方式



- ① ID（利用者識別番号）
- ② パスワード（暗証番号）



確定申告会場で、既にID・パスワード方式の届出を提出された方は、申告書控えと一緒に受け取った「ID・パスワード方式の届出完了通知」をご確認ください。

※ ID・パスワード方式はマイナンバーカード等が普及するまでの暫定的な対応です。
マイナンバーカードの早期取得をお願いいたします。

※市役所内の会場では、電子申告及びご自身で確定申告書の作成ができるコーナーを設置しております。自宅にパソコンがない方やご自身で作成してみたい方は是非ご利用ください。

実際に申告書を作ってみよう

所得の種類

| 種 類 | | 内 容 | 計 算 方 法 等 |
|-----------|-------|---|---|
| 事業所得 | 営業など | 卸売業、小売業、飲食店業、サービス業、などのいわゆる営業から生ずる所得や、外交員、医師、弁護士などの事業から生ずる所得 | 営業など、農業、不動産の所得は、収入金額から必要経費を差し引いた金額となります。これら3つの所得のいずれかがある方は、種類ごとに収入金額や必要経費などをまとめた収支内訳書を作成してください。 |
| | 農業 | 農産物の生産、果樹などの栽培、家畜の飼育などから生ずる所得 | |
| 不動産所得 | | 地代、家賃、土地家屋の権利金などの貸付けから生ずる所得 | |
| 給与所得 | | 給与、賃金、賞与などの所得（アルバイト、パートタイムによる収入を含む） | 所得金額は7ページの給与所得の計算方法により算出します。 |
| 雑所得 | 公的年金等 | 国民年金、厚生年金、企業年金および公務員の共済年金などの所得 | 所得金額は7ページの公的年金等に係る雑所得の計算方法により算出します。 |
| | 業務 | 原稿料、印税、講演料、副業（営利を目的とした継続的なもの）による収入 | 業務の雑所得は、収入金額から必要経費を差し引いた金額となります。 |
| | その他 | 個人年金などの公的年金等にも業務にもあてはまらない所得 | その他の雑所得は、収入金額から必要経費を差し引いた金額となります。 |
| 一時所得 | | 生命保険の一時金や損害保険の満期戻金、賞金、懸賞当せん金、競馬などの払戻金による所得 | 一時所得は、収入金額から必要経費を差し引き、さらに、50万円を差し引いた額を2分の1した金額（マイナスの時は0）になります。 |
| 総合課税の譲渡所得 | | 車輜、機械、ゴルフ会員権などの資産の譲渡による所得 | 資産の取得の日以後5年以内に譲渡したものを短期譲渡所得、5年を超えてから譲渡したものを長期譲渡所得といいます。資産を売った金額から取得費と譲渡費用を引き、さらに、特別控除（最大50万円）を差し引いた金額が所得金額です。 |
| 配当所得 | | 法人から受ける配当や投資信託などの収益の分配による所得 | 上場株式などに係る配当所得（発行済株式総数の5%以上の株式に係るものを除く）については申告の必要はありません。 |
| 利子所得 | | 預金や公社債の利子、公社債投資信託や貸付信託の収益の分配などによる所得 | 一般的に利子所得は源泉分離課税ですので申告の必要はありません。ただし、国外の銀行などの預金の利子など、源泉徴収されないものなどは申告が必要です。 |
| 分離課税の譲渡所得 | | 土地や建物、株式などの資産を譲渡したときに生ずる所得 | 計算方法など詳しくは佐賀税務署(32-7511)へお尋ねください。 |
| 山林所得 | | 山林を伐採して譲渡したり、山林を立木のままで譲渡したりすることにより生ずる所得 | |
| 退職所得 | | 退職手当や一時恩給など退職に際して勤務先から受けるもの | 通常、退職所得は会社が退職金にかかる税金を納付済のため、申告の必要はありません。ただし、退職所得の受給に関する申告書を会社に提出されていない時は、申告が必要な場合があります。 |

所得の求め方

● 給与所得の計算方法

| 給与収入金額 | 給与所得金額 | |
|-----------------------|----------------------------|----------------------|
| 550,999円 以下 | 0円 | |
| 551,000円～1,618,999円 | 収入金額 - 550,000円 | |
| 1,619,000円～1,619,999円 | 1,069,000円 | |
| 1,620,000円～1,621,999円 | 1,070,000円 | |
| 1,622,000円～1,623,999円 | 1,072,000円 | |
| 1,624,000円～1,627,999円 | 1,074,000円 | |
| 1,628,000円～1,799,999円 | 収入金額 ÷ 4 = A (千円未満切り捨て) | (A) × 2.4 + 100,000円 |
| 1,800,000円～3,599,999円 | | (A) × 2.8 - 80,000円 |
| 3,600,000円～6,599,999円 | | (A) × 3.2 - 440,000円 |
| 6,600,000円～8,499,999円 | 収入金額 × 0.9 - 1,100,000円 | |
| 8,500,000円 以上 | 収入金額 - 1,950,000円 | |

※収入金額が660万円未満である場合には、「年末調整のための給与所得控除後の給与等の金額の表」で給与所得の金額を求めます。

● 公的年金等に係る雑所得の計算方法

<65歳未満の方※昭和33年1月2日以降に生まれた方>

| 公的年金等の収入金額 | 公的年金等に係る雑所得金額 | | |
|-----------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 公的年金等に係る雑所得金額以外の所得に係る合計所得金額 | | |
| | 1,000万円以下 | 1,000万円超 2,000万円以下 | 2,000万円超 |
| 400,000円 以下 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 400,001円～ 500,000円 | | | |
| 500,001円～ 600,000円 | | 収入金額 - 500,000円 | 収入金額 - 400,000円 |
| 600,001円～1,299,999円 | 収入金額 - 600,000円 | | |
| 1,300,000円～4,099,999円 | 収入金額 × 0.75 - 275,000円 | 収入金額 × 0.75 - 175,000円 | 収入金額 × 0.75 - 75,000円 |
| 4,100,000円～7,699,999円 | 収入金額 × 0.85 - 685,000円 | 収入金額 × 0.85 - 585,000円 | 収入金額 × 0.85 - 485,000円 |
| 7,700,000円～9,999,999円 | 収入金額 × 0.95 - 1,455,000円 | 収入金額 × 0.95 - 1,355,000円 | 収入金額 × 0.95 - 1,255,000円 |
| 10,000,000円 以上 | 収入金額 - 1,955,000円 | 収入金額 - 1,855,000円 | 収入金額 - 1,755,000円 |

<65歳以上の方※昭和33年1月1日以前に生まれた方>

| 公的年金等の収入金額 | 公的年金等に係る雑所得金額 | | |
|-----------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 公的年金等に係る雑所得金額以外の所得に係る合計所得金額 | | |
| | 1,000万円以下 | 1,000万円超 2,000万円以下 | 2,000万円超 |
| 900,000円 以下 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 900,001円～1,000,000円 | | | |
| 1,000,001円～1,100,000円 | | 収入金額 - 1,000,000円 | 収入金額 - 900,000円 |
| 1,100,001円～3,299,999円 | 収入金額 - 1,100,000円 | | |
| 3,300,000円～4,099,999円 | 収入金額 × 0.75 - 275,000円 | 収入金額 × 0.75 - 175,000円 | 収入金額 × 0.75 - 75,000円 |
| 4,100,000円～7,699,999円 | 収入金額 × 0.85 - 685,000円 | 収入金額 × 0.85 - 585,000円 | 収入金額 × 0.85 - 485,000円 |
| 7,700,000円～9,999,999円 | 収入金額 × 0.95 - 1,455,000円 | 収入金額 × 0.95 - 1,355,000円 | 収入金額 × 0.95 - 1,255,000円 |
| 10,000,000円 以上 | 収入金額 - 1,955,000円 | 収入金額 - 1,855,000円 | 収入金額 - 1,755,000円 |

主な所得控除の一覧

令和5年度 市県民税(令和4年分所得税)

| 控除の種類 | | 控除額(市県民税) | 控除額(所得税) | 要件 | |
|------------|--------------------|--|-----------|--|------|
| 社会保険料控除 | | 支払った社会保険料の金額 | | 本人や本人と生計を一にする親族のために国民健康保険税、後期高齢医療保険料、介護保険料、国民年金保険料などを支払った場合 | |
| 生命保険料控除 | | 詳しくは10ページをご覧ください。 | | | |
| 地震保険料控除 | | 詳しくは10ページをご覧ください。 | | | |
| ひとり親控除(※1) | | 30万円 | 35万円 | その年の12月31日の現況で、婚姻をしていないこと又は配偶者の生死が明らかでない一定の人のうち、次の3つの要件全てに当てはまる人。①事実上婚姻関係と同様の事情にあると認められる一定の人がいないこと②生計を一にする子がいること③合計所得金額が500万円以下であること | |
| 寡婦控除(※1) | | 26万円 | 27万円 | その年の12月31日の現況で、ひとり親に該当せず、次のいずれかに当てはまる人。①夫と離婚した後婚姻をしておらず、扶養親族がいる人で、合計所得金額が500万円以下の人②夫と死別した後婚姻していない人又は夫の生死が明らかでない一定の人で、合計所得金額が500万円以下の人 | |
| 障害者控除 | 一般障害者 | 26万円 | 27万円 | 本人、配偶者控除の対象者又は扶養親族が障害者の場合 ※特別障害者とは、身体障害者手帳上1級又は2級と記載されている人や重度の知的障害者と判定されている人などが該当します。一般障害者は、特別障害者以外の障害を認定されている人などが該当します。 | |
| | 特別障害者 | 30万円 | 40万円 | | |
| | 同居特別障害者 | 53万円 | 75万円 | | |
| 勤労学生 | | 26万円 | 27万円 | 特定の学校の学生、生徒で勤労による所得があり、合計所得金額が75万円以下で、かつ勤労による所得以外の所得が10万円以下である場合 | |
| 扶養控除 | 年少扶養親族 | 0円 | 0円 | 生計を一にする親族(配偶者を除く)で合計所得金額が48万円以下の人がいる場合(※事業専従者を除く。 <ul style="list-style-type: none"> 一般扶養親族(その年12月31日現在の年齢が16歳以上で、特定扶養親族、老人扶養親族に当てはまらない人) 特定扶養親族(その年12月31日現在の年齢が19歳以上23歳未満の人) 老人扶養親族(その年の12月31日現在の年齢が70歳以上の人) ※税法上、1人の親族を複数の方が重複して扶養することはできません。 | |
| | 一般扶養親族 | 33万円 | 38万円 | | |
| | 特定扶養親族 | 45万円 | 63万円 | | |
| | 老人扶養親族 | 同居老親等以外 | 38万円 | | 48万円 |
| | | 同居老親等 | 45万円 | | 58万円 |
| 雑損控除 | | 災害又は盗難若しくは横領によって、資産について損害を受けた場合。詳しくは佐賀税務署(32-7511)へ。 | | | |
| 医療費控除 | | 詳しくは添付の医療費の明細書裏面をご覧ください。 | | | |
| 基礎控除 | 合計所得金額(納税義務者) | | 控除額(市県民税) | 控除額(所得税) | |
| | 2,400万円以下 | | 43万円 | 48万円 | |
| | 2,400万円超 2,450万円以下 | | 29万円 | 32万円 | |
| | 2,450万円超 2,500万円以下 | | 15万円 | 16万円 | |
| | 2,500万円超 | | 0円 | 0円 | |

(※1) ひとり親控除、寡婦控除のいずれについても、住民票の続柄に「夫(未届)」 「妻(未届)」の記載のある者は対象外とします。

| | | 居住者の合計所得金額（納税義務者） | | |
|---------|----------------------------|-------------------|---------------|-----------------|
| | | 900万円以下 | 900万円超950万円以下 | 950万円超1,000万円以下 |
| 配偶者控除 | 配偶者の合計所得金額 48万円以下 | 38万円（33万円） | 26万円（22万円） | 13万円（11万円） |
| | 老人控除対象配偶者 | 48万円（38万円） | 32万円（26万円） | 16万円（13万円） |
| 配偶者特別控除 | 配偶者の合計所得金額 48万円超 95万円以下 | 38万円（33万円） | 26万円（22万円） | 13万円（11万円） |
| | 95万円超 100万円以下 | 36万円（33万円） | 24万円（22万円） | 12万円（11万円） |
| | 100万円超 105万円以下 | 31万円（31万円） | 21万円（21万円） | 11万円（11万円） |
| | 105万円超 110万円以下 | 26万円（26万円） | 18万円（18万円） | 9万円（9万円） |
| | 110万円超 115万円以下 | 21万円（21万円） | 14万円（14万円） | 7万円（7万円） |
| | 115万円超 120万円以下 | 16万円（16万円） | 11万円（11万円） | 6万円（6万円） |
| | 120万円超 125万円以下 | 11万円（11万円） | 8万円（8万円） | 4万円（4万円） |
| | 125万円超 130万円以下 | 6万円（6万円） | 4万円（4万円） | 2万円（2万円） |
| | 130万円超 133万円以下 | 3万円（3万円） | 2万円（2万円） | 1万円（1万円） |
| | 133万円超 | 0円（0円） | 0円（0円） | 0円（0円） |

※（ ）内の金額は市県民税の控除額

所得金額調整控除

次に該当する場合は、給与所得から所得金額調整控除が控除されます。

1. 給与等の収入金額が850万円を超え、次のいずれかに該当する場合

- 本人が特別障害者に該当する
- 年齢23歳未満の扶養親族を有する
- 特別障害者である同一生計配偶者もしくは扶養親族を有する

所得金額調整控除額 = (給与等の収入額 (※1) - 850万円) × 10% 【最大15万円】

(※1) 1,000万円を超える場合は1,000万円とする

2. 給与所得控除後の給与等の金額及び公的年金等に係る雑所得の金額があり、給与所得控除後の給与等の金額と公的年金等に係る雑所得の金額の合計額が10万円を超える場合

所得金額調整控除額 = (給与所得控除後の給与等の金額 (※2) + 公的年金等に係る雑所得の金額 (※2)) - 10万円 【最大10万円】

(※2) 10万円を超える場合は10万円とする

※1と2の両方に該当される場合は、1の控除後に2の金額を控除します

新・旧 生命保険料控除額計算方法

納税者が一定の一般生命保険料、個人年金保険料及び介護医療保険料を支払った場合には、一定の金額の生命保険料控除を受けることができます。

| | |
|---------|---------------------------------|
| 一般生命保険料 | 生存または死亡に起因して支払う保険金・その他給付金に係る保険料 |
| 介護医療保険料 | 入院・通院などにもなう給付部分に係る保険料 |
| 個人年金保険料 | 個人年金保険料税制適格特約を付加した個人年金保険に係る保険料 |

旧契約 平成23年12月31日までに締結した保険契約（一般・年金それぞれに適用）

| 年間の払込保険料 | 控除額（市県民税） |
|-----------------|-------------------|
| ～15,000円 | 払込保険料の金額 |
| 15,001円～40,000円 | 払込保険料×1/2+7,500円 |
| 40,001円～70,000円 | 払込保険料×1/4+17,500円 |
| 70,001円～ | 一律35,000円 |

【一般・年金あわせて70,000円が限度】

| 年間の払込保険料 | 控除額（所得税） |
|------------------|-------------------|
| ～25,000円 | 払込保険料の金額 |
| 25,001円～50,000円 | 払込保険料×1/2+12,500円 |
| 50,001円～100,000円 | 払込保険料×1/4+25,000円 |
| 100,001円～ | 一律50,000円 |

【一般・年金あわせて100,000円が限度】

新契約 平成24年1月1日以後に締結した保険契約（一般・年金・介護医療それぞれに適用）

| 年間の払込保険料 | 控除額（市県民税） |
|-----------------|-------------------|
| ～12,000円 | 払込保険料の金額 |
| 12,001円～32,000円 | 払込保険料×1/2+6,000円 |
| 32,001円～56,000円 | 払込保険料×1/4+14,000円 |
| 56,001円～ | 一律28,000円 |

【一般・年金・介護医療あわせて70,000円が限度】

| 年間の払込保険料 | 控除額（所得税） |
|-----------------|-------------------|
| ～20,000円 | 払込保険料の金額 |
| 20,001円～40,000円 | 払込保険料×1/2+10,000円 |
| 40,001円～80,000円 | 払込保険料×1/4+20,000円 |
| 80,001円～ | 一律40,000円 |

【一般・年金・介護医療あわせて120,000円が限度】

地震保険料控除額計算方法

納税者が一定の地震保険料または、旧長期損害保険料を支払った場合には、一定の金額の地震保険料控除を受けることができます。

●地震保険料控除

| 年間の払込保険料 | 控除額（市県民税） |
|----------|-----------|
| ～50,000円 | 払込保険料×1/2 |
| 50,001円～ | 一律25,000円 |

【地震保険料・旧長期損害保険料あわせて25,000円が限度】

| 年間の払込保険料 | 控除額（所得税） |
|----------|-----------|
| ～50,000円 | 全額 |
| 50,001円～ | 一律50,000円 |

【地震保険料・旧長期損害保険料あわせて50,000円が限度】

●旧長期損害保険料 平成18年12月31日までに締結した保険契約

| 年間の払込保険料 | 控除額（市県民税） |
|-----------------|------------------|
| ～5,000円 | 全額 |
| 5,001円～10,000円 | 払込保険料×1/2+2,500円 |
| 10,001円～15,000円 | |
| 15,001円～20,000円 | 一律10,000円 |
| 20,001円～ | |

【地震保険料・旧長期損害保険料あわせて25,000円が限度】

| 年間の払込保険料 | 控除額（所得税） |
|-----------------|------------------|
| ～5,000円 | 全額 |
| 5,001円～10,000円 | |
| 10,001円～15,000円 | 払込保険料×1/2+5,000円 |
| 15,001円～20,000円 | |
| 20,001円～ | 一律15,000円 |

【地震保険料・旧長期損害保険料あわせて50,000円が限度】

上場株式等の所得に係る市県民税(住民税)の課税方式の選択をお考えの方へ

上場株式等の譲渡所得および上場株式等の配当所得等(特定配当等)について、所得税の確定申告書において総合課税または申告分離課税として申告した場合は、原則として住民税も同様の申告方式が採用されますが、所定の手続きにて課税方式を所得税と住民税で異なるものとすることができます。

●選択できる課税方式

| 所得の種類 | 選択できる課税方式 | | |
|---------------------------------------|-----------|--------|--------|
| ①上場株式等の配当所得 | 総合課税 | 申告分離課税 | 申告不要制度 |
| ②特定公社債等の利子所得 | — | 申告分離課税 | 申告不要制度 |
| ③上場株式等の譲渡所得等 (源泉徴収ありの特定口座 内のもの) | — | 申告分離課税 | 申告不要制度 |

●課税のしくみと他制度への影響

特定上場株式等の配当等については、所得税**15.315%**(復興特別所得税分含む)と住民税**5%**(配当割)の合計**20.315%**の税率で源泉徴収(特別徴収)されています。(源泉徴収がされる特定口座の上場株式等譲渡所得も同じ)

確定申告した場合は、申告書第二表「住民税に関する事項」欄に5%分の特定上場株式等の配当割額や株式等譲渡所得割額を記入することで住民税の所得割から税額控除がされます。

一方で、申告不要とされている特定上場株式等の配当等を申告した場合、配偶者控除や扶養控除などの判定に用いる**合計所得金額に算入されることとなります**。これにより**扶養等の控除が受けられないことや、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料(負担割合を含む)などに影響が出る場合がありますのでご注意ください**。

●手続方法

上場株式等に係る所得の全てについて、住民税で申告不要制度を利用する場合は、確定申告書第二表の住民税に関する事項に申告不要欄があり、○を記入すれば市への手続きは不要です。申告不要を利用できない(または、しない)配当所得または株式等に係る譲渡所得が少しでもある場合は、確定申告書とは別に**市県民税申告書及び市県民税申告書付表(課税方式選択用)**を市へ提出してください。

●提出期限

該当年度の申告期限(3月15日)まで。

●お知らせ

令和4年度の税制改正で、令和6年度(令和5年分)の確定申告から住民税と所得税の課税方式を一致させる改正がありました。そのため、所得税と住民税で異なる課税方式を選択することができなくなりますので、ご注意ください。

課税方式の選択については他制度への影響等を確認されたうえでご自身で判断していただく必要があります。各課税方式での試算は行っていませんのであらかじめご了承ください。

<参考>

市県民税について

市県民税は前年1年間（1月1日～12月31日）の所得に対して課される税で、1月1日現在小城市に住所がある方に課税されます。計算は、個人の所得（給与、公的年金、農林漁業、営業など）や所得控除（扶養控除、生命保険料控除など）の内容に応じて行い、6月に税額を決定します。

●計算方法

- ・所得割：課税標準額（前年所得－所得控除の合計）×税率（市6%、県4%）
- ・均等割：市3,500円（内、復興特別税500円）、県2,000円（内、復興特別税500円、森林環境税500円）

〔復興特別税の説明〕

東日本大震災をふまえ、全国の地方公共団体が実施する緊急防災・減災事業について、その財源を自主的に確保できるよう、国の地方税の臨時特例に関する法律により、平成26年度から令和5年度までの10年間に限り、市民税と県民税の均等割の標準税率がそれぞれ500円加算されます。

●お知らせ

令和6年度から適切な森林整備の課題解決の財源として、国税の森林環境税が市県民税の均等割とあわせて1人年額1,000円徴収されます。

- ・均等割(令和6年度以降予定)：市3,000円、県1,500円（内、森林環境税500円）、国1,000円（内、森林環境税1,000円）

$$\text{市県民税額} = \text{所得割} - \text{調整控除、税額控除など} + \text{均等割}$$

<参考> 国税庁ホームページより

所得税の税率

所得を合計した総所得金額から、所得控除の合計を引いた残りに税率をかけて計算します。

[令和4年4月1日現在法令等]

所得税の税率は、分離課税に対するものなどを除くと、5%から45%の7段階に区分されています。

課税される所得金額（千円未満の端数金額を切り捨てた後の金額です。）に対する所得税の金額は、次の速算表を使用すると簡単に求められます。

（平成27年分以降）

所得税の速算表

| 課税される所得金額 | 税率 | 控除額 |
|----------------------|-----|------------|
| 1,000円～ 194万9,000円 | 5% | 0円 |
| 195万円～ 329万9,000円 | 10% | 97,500円 |
| 330万円～ 694万9,000円 | 20% | 427,500円 |
| 695万円～ 899万9,000円 | 23% | 636,000円 |
| 900万円～1,799万9,000円 | 33% | 1,536,000円 |
| 1,800万円～3,999万9,000円 | 40% | 2,796,000円 |
| 4,000万円～ | 45% | 4,796,000円 |

パソコンにて国民健康保険税額の「試算」が可能です！

小城市ホームページに掲載している国民健康保険税額シミュレーション(Excel)にて、以下の3ステップで確認できます。なお、スマートフォンでは、試算できません。

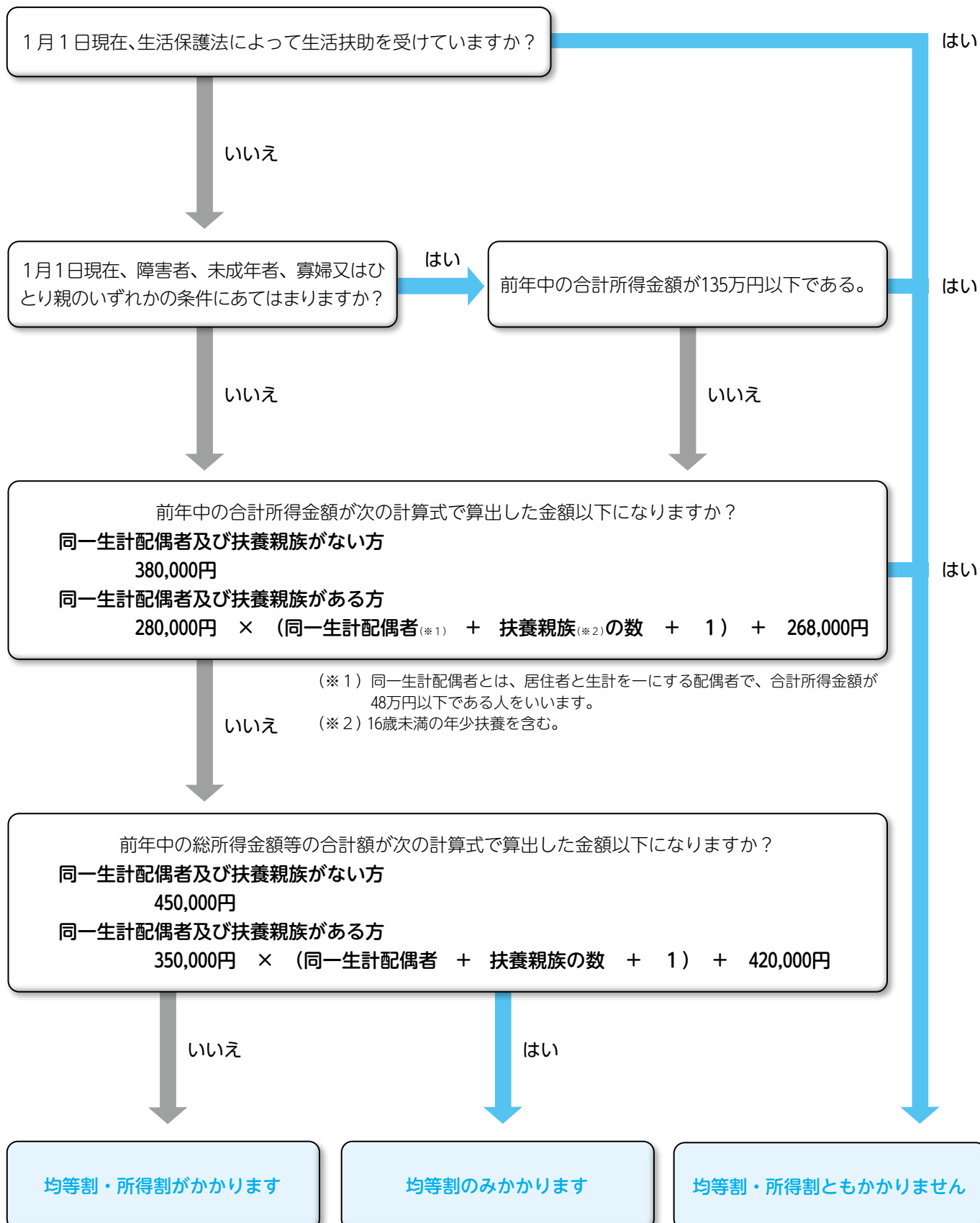
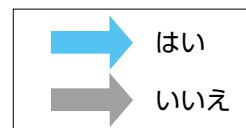
- 【3ステップ】
- ①世帯主の国民健康保険加入有無、各収入・所得を入力
 - ②国民健康保険加入者の各収入・所得を入力
 - ③自動的に、おおよその年間税額・1か月分税額が算定されます。

【URL】 <https://www.city.ogi.lg.jp/main/16283.html>

※詳しくは『小城市 国保試算』とキーワード検索し、ご確認ください。

●市県民税がかかる人・かからない人

次の質問に答えて、どのような市県民税がかかるか試してみましょう。



市県民税申告書の記載のしかた

申告フローチャート（2～3ページ）により、市県民税の申告が必要な方は、下記の記載例を参考に令和4年1月1日から12月31日までの所得や、控除の状況を記入してください。

第五号の四様式表面（第二条関係）

分離課税に係る所得等のある方は、「市県民税・国民健康保険税申告書（分離課税等用）」を合わせて提出してください。

令和5年度 市県民税 国民健康保険税 申告書

表

| | | | | | |
|----------------|---|------|--------|-----------------|----------------------|
| 提出年月日 年 月 日 | 現住所 1月1日現在の住所 氏名 小 城 太 郎 生年月日 明・大・昭 平・令 23・12・23 世帯主の氏名 | 整理番号 | 業種又は職業 | 電話番号 37-6103 | 個人番号 123456789000 |
| 提出年月日 年 月 日 | 現住所 小城市三日月町長神田2312番地2 | 整理番号 | 業種又は職業 | 電話番号 37-6103 | 個人番号 123456789000 |

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

| | | | |
|-----------------------------|---|------------|----|
| ⑬ 社会保険料控除 | 社会保険の種類 | 支払った保険料 | 円 |
| ⑮ 生命保険料控除 | 新生命保険料の計 | 旧生命保険料の計 | 円 |
| ⑯ 地震保険料控除 | 地震保険料の計 | 旧長期損害保険料の計 | 円 |
| ⑰～⑲ 寡婦控除、ひとり親控除、勤労学生控除 | ⑰ <input type="checkbox"/> 寡婦控除 ⑱ <input type="checkbox"/> ひとり親控除 ⑲ <input type="checkbox"/> 勤労学生控除 | 控除額 | 円 |
| ⑳ 障害者控除 | 障害者の氏名、個人番号、障害の程度 | 控除額 | 円 |
| ㉑～㉒ 配偶者控除、配偶者特別控除、同一生計配偶者控除 | 配偶者の氏名、個人番号、生年月日、配偶者の合計所得金額 | 控除額 | 円 |
| ㉓ 扶養控除 | 扶養者の氏名、個人番号、生年月日、同居・別居の区分 | 控除額 | 万円 |
| ㉔ 16歳未満の扶養親族 | 扶養親族の氏名、個人番号、生年月日、同居・別居の区分 | 控除額 | 円 |
| ㉕ 雑損控除 | 損害の原因、損害金額 | 控除額 | 円 |
| ㉖ 医療費控除 | 支払った医療費等 | 控除額 | 円 |

| | | |
|----------------|--|---|
| 1 収入金額等 | 事業 営業等 農業 不動産 利子 配当 給与 公的年金等 業務 その他 短期 長期 一時 | 円 |
| 2 所得金額 | 事業 営業等 農業 不動産 利子 配当 給与 公的年金等 業務 その他 合計 総合譲渡・一時 合計 | 円 |
| 4 所得から差し引かれる金額 | 社会保険料控除 小規模企業共済等掛金控除 生命保険料控除 地震保険料控除 寡婦、ひとり親控除 勤労学生、障害者控除 配偶者（特別）控除 扶養控除 基礎控除 ⑬から⑳までの計 雑損控除 医療費控除 合計 | 円 |

地方税法附則第4条の4の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」の口に「1」と記入してください。

「個人番号」欄には、個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

◆ 令和4年中の収入がなかった方、収入が非課税収入（障害年金、遺族年金、雇用保険等）のみの方はこちらにご記入ください。

令和4年1月から12月までの収入状況で該当する番号を○で囲んでください。
 ① 無収入であった ② 非課税収入のみであった ⇒ 非課税収入の種類（該当するものを○で囲んでください）
 障害年金・遺族年金・雇用保険・その他（ ）

★記入の際の注意事項

① 住所・氏名等について

住所・氏名・生年月日・電話番号・個人番号を記入してください。本人確認書類として、①マイナンバーカード、②通知カードと運転免許証、③マイナンバーが記載された住民票と運転免許証、この3つの内いずれかの写しを申告書に添付してください。また、令和5年1月1日時点の住所と現住所が異なる方は、令和5年1月1日時点の住所も記入してください。

② 収入状況について

給与・年金の収入のある方は7ページの計算表をもとに収入金額、所得金額をご記入ください。なお、源泉徴収票がある方は申告書に添付してください。

給与収入のある方で、源泉徴収票がない場合は、申告書裏面の「5. 給与所得の内訳」欄に記入してください。

営業等・農業・不動産の収入のある方は、収支を事前に計算し、裏面の「6. 事業・不動産所得に関する事項」に収入と必要経費の内訳を記入してください。なお、提出できる任意の収支計算書類をお持ちの場合は、これに代えることができます。

③ 所得控除について

8～10ページの主な所得控除一覧を参考に、該当する項目に金額などを記入してください。

社会保険料や生命保険料等の控除証明書があれば申告書に添付してください。

④ 扶養親族について

扶養親族がいる方は扶養親族の氏名、生年月日、個人番号などをご記入ください。

申告者と扶養親族の方が別住所である場合は、裏面の「11. 別居の扶養親族等に関する事項」にその扶養親族の方の個人番号及び住所を記入してください。

扶養親族等の個人番号の確認は納税義務者本人が行うこととなります。

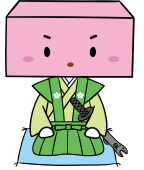
令和4年中に収入がなかった方、非課税収入（障害年金、遺族年金、雇用保険など）のみの方は、表面の下段点線以下の部分に記入し、ご提出ください。この場合、資料の添付は必要ありません。

申告日程カレンダー

●受付時間 午前9時～午後4時（2月26日(日)は午前9時～午前12時）

●受付会場（会場案内図は4ページ）

入場(案内)開始時間は午前8時です。



※各会場とも月曜日と火曜日が混みあいます。

※個々人で申告の内容が異なり、待ち時間も長くなる場合がありますのであらかじめご了承ください。

※仕事等の理由により都合があわない場合は対象地区以外でも受付可能です。

| 令和5年2月 | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|----------------------------------|---|----------------------------------|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| | | | | 小城会場：「ゆめぶらっと小城」 (2階天山ホール) (対象：小城町全域) | | |
| | | | | 小城市役所 西館 2階 (対象：牛津町・芦刈町全域) | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 休日申告受付 小城市役所 西館 2階 【16時まで】 | 小城会場：「ゆめぶらっと小城」 (2階天山ホール) (対象：小城町全域) | | 牛津会場：牛津公民館 (1階ホール) (対象：牛津町全域) | | 牛津会場：牛津公民館 (1階ホール) (対象：牛津町全域) | |
| | 小城市役所 西館 2階 (対象：牛津町・芦刈町全域) | | 小城市役所 西館 2階 (対象：三日月町全域) | | 小城市役所 西館 2階 (対象：三日月町全域) | |
| 2月 | | | 令和5年3月 | | | |
| 26 | 27 | 28 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 休日申告受付 小城市役所 西館 2階 【※12時まで】 | 牛津会場：牛津公民館 (1階ホール) (対象：牛津町全域) | 芦刈会場：芦刈保健福祉センターひまわり (集団指導室) (対象：芦刈町全域) | | | 小城市役所 西館 2階 (対象：市内全域) | |
| | 小城市役所 西館 2階 (対象：三日月町全域) | 小城市役所 西館 2階 (対象：小城町・三日月町全域) | | | | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| | 小城市役所 西館 2階 (対象：市内全域) | | | | | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| | 小城市役所 西館 2階 (対象：市内全域) | | | | | |

【マイナンバーカードを作りませんか～マイナンバーカードの申請はお早めに～】

マイナンバーカードの申請は、市民課窓口、小城・牛津・芦刈出張所で受け付けています。

《持ってくるもの》運転免許証、健康保険証、通知カード

※顔写真付きの身分証明書をお持ちでない方は、健康保険証など1点をお持ちください。

【マイナンバーカードに関するお問い合わせ】市民課 ☎37-6100

いまがお得マイナポイント
最大20,000円分付与

無料で顔写真の
撮影サービス
を行っています



マイナポイント申込に必要な
カードの申請期限は
令和5年2月まで!!